

1. 輸出における現状と課題

【現状】

・国内の鶏卵の需給動向を踏まえると、今後、人口減少に伴う需要の減少が想定され、鶏卵産業の維持・発展には安定的な海外市場の開拓が必要と考え、平成28年から香港市場への輸出を開始した。

- ・複数の商社や輸入業者と連携して、輸出実績を伸ばしてきた。

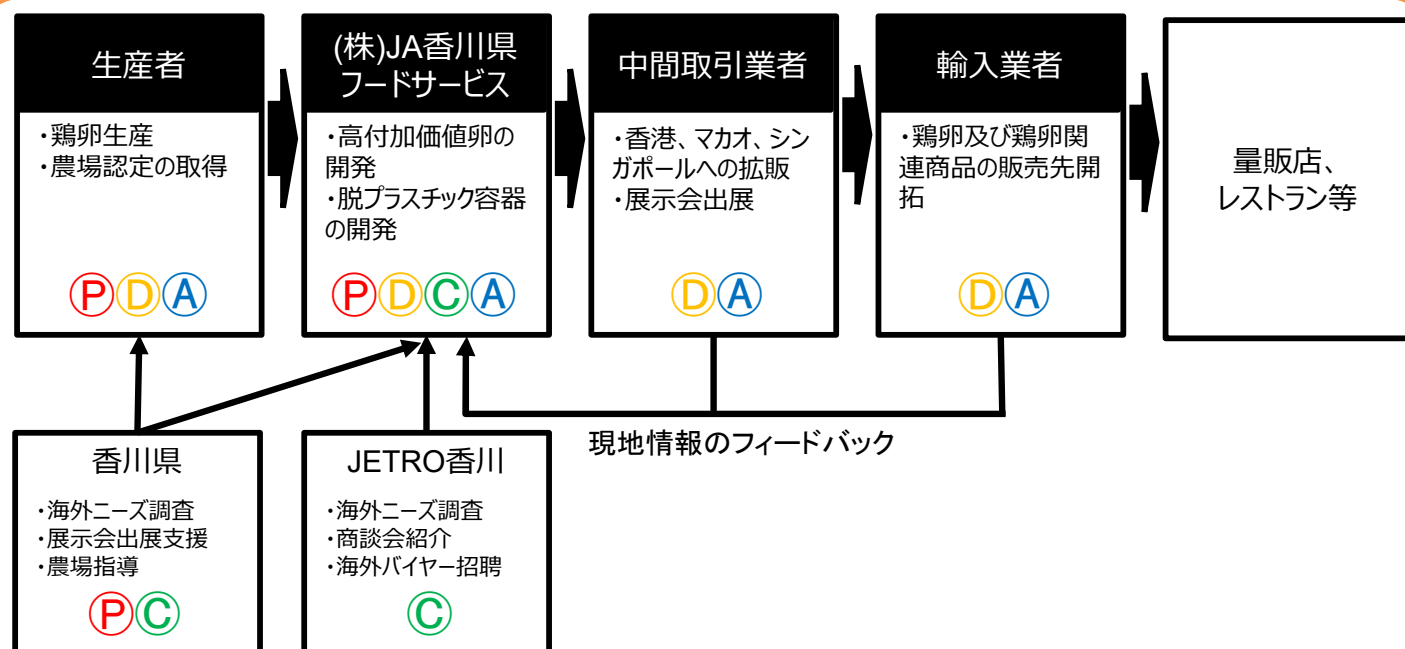
【課題】

- ・日本産鶏卵の産地間競争が激化している香港では、価格や商品の差別化が急務となっている。
- ・「脱プラスチック」への取組みとして、新たな素材による鶏卵包装容器の探索及び導入が必要である。
- ・今後の輸出拡大時には、輸送時間の短縮や経費削減の検討が必要である。
- ・輸出先国が求める農場認定の取得が必要である。
- ・鶏卵におけるサステナブル商品の情報発信を進め、持続可能な社会に貢献する必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・オリーブに特化した飼料を鶏に給与し、新たな鶏卵の研究・開発に取り組み、輸出品目の差別化を図る。
- ・環境に配慮した鶏卵包装資材の開発に取り組む。
- ・輸送便の効率的な積み合わせを行い、効率的な輸送に取り組む。
- ・シンガポール向け輸出鶏卵生産農場の認定を取得し、新規の輸出先を開拓する。
- ・多言語に対応したホームページや動画を作成し、当社の取組や料理レシピ等の情報を発信していく。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状（令和4年度）	目標年（令和8年度）
輸出額(千円)	72,630	117,000
輸出量（t）	286	450
輸出先国	香港	香港、マカオ、シンガポール
取扱量（t）	25,000	25,000